

6月定例会

一般会計補正予算など 3議案を可決

万円とするものです。

平成23年6月定例会は、6月8日に招集され10日間の会期で開催されました。今定例会に提出された議案は、一般会計補正予算など3議案と報告2件で、いずれも審議のうえ可決・了承しました。また、7名の議員による一般質問、請願等の審議を行い、6月14日に閉会しました。

議案の概要

議案第一号
平成23年度横芝光町一般会計補正予算（第2号）について
(可決)
3月11日に発生した東日本大震災により被害を受けた施設の復旧並びに関係する事業費のほか、介護基盤緊急整備事業、地域園芸活

性化事業等に要する経費に補正の必要が生じたため、歳入歳出それぞれ7,833万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ96億5,449万8千円とするものです。

東日本大震災を契機に、天災による食肉センター施設の機能不全により被害を受けた利用者への支援事業に要する経費に補正の必要が生じたため、歳入歳出それぞれ150万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億9,700万円とするものです。

横芝光町防災行政無線（デジタル同報系）整備工事請負契約の締結について
(可決)
例で定める基準に該当するため、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものです。

平成22年度横芝光町一般会計事故繰越し繰越報告について
(了承)
平成22年度横芝光町一般会計予算において、東日本大震災の影響による避けがたい事故のため年度内に支出の終わらなかつた町道II-10号線道路改良事業、(仮称)長塚、北清水橋架橋・

縦越明許費を設定した新事業、(仮称)長塚、北清水橋架橋・取付道路整備事業及び東陽小学校屋内運動場改築事業等に係る事故縦越し縦越計算書により報告するものであります。

横芝光町防災行政無線（デジタル同報系）整備工事請負契約の予定価格が条例で定める基準に該当するため、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものです。

平成22年度横芝光町一般会計事故繰越し繰越報告について
(了承)
平成22年度横芝光町一般会計予算において、東日本大震災の影響による避けがたい事故のため年度内に支

付道路整備事業及び東陽小学校屋内運動場改築事業等に係る事故縦越し縦越計算書について、地方自治法の規定により報告するものであります。

津波で破壊された防砂フェンス（屋形海岸）



報告第1号
平成22年度横芝光町一般会計繰越し許認可繰越報告について
(了承)
平成22年度横芝光町一般会計予算（第6号）で

10号線道路改良事業、(仮称)長塚、北清水橋架橋・

議案第二号

横芝光町防災行政無線（デジタル同報系）整備工事請負契約の締結について
(可決)
横芝光町防災行政無線（デジタル同報系）整備工事請負契約の予定価格が条例で定める基準に該当するため、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものです。

横芝光町防災行政無線（デジタル同報系）整備工事請負契約の予定価格が条例で定める基準に該当するため、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものです。

津波で破壊された防砂フェンス（屋形海岸）



3月11日の東日本大震災による町内の被災状況を視察（3月15日・屋形地先）

請願2件を 採択

6月定例会までに受理された請願2件・陳情1件は、各常任委員会で審査され、委員長報告のとおり次の2件を採択しました。

請願第1号

「国における平成24（2012）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書（採択）

請願第2号

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願書（採択）

陳情第1号

「大幅増員と夜勤改善で安全、安心の医療・介護を求める意見書」採択に関する陳情書（不採択）

※採択した請願にかかる意見書案を各常任委員会委員長発議で提案し、これを可決しました。
可決された意見書は、関係機関に提出しました。

デマンド交通について 導入に向け 詳細検討に入る



川島富士子 議員

A Q デマンド交通について
A 昨年度末に提出された
公共交通庁内検討委員会の
結果では、合理的で利便性
が高いオンデマンド交通シ
ステムが最良策との報告で
あり、この検討結果を基に
デマンド交通の導入に向け
いて

Q デマンド交通について
A 昨年度末に提出された
公共交通庁内検討委員会の
結果では、合理的で利便性
が高いオンデマンド交通シ
ステムが最良策との報告で
あり、この検討結果を基に
デマンド交通の導入に向け
いて

Q デマンド交通について
A 利用対象者を小学校6
年生まで拡充するには、施
設の拡充や指導員の増員が
必要となり、これらに多額
の経費が見込まれますので、
今後の財政状況を勘案しな
がら、検討して参ります。
・福島第一原子力発電所の
災害に対する本町の取り組みについて

Q デマンド交通について
A 昨年度末に提出された
公共交通庁内検討委員会の
結果では、合理的で利便性
が高いオンデマンド交通シ
ステムが最良策との報告で
あり、この検討結果を基に
デマンド交通の導入に向け
いて

Q デマンド交通について
A 利用対象者を小学校6
年生まで拡充するには、施
設の拡充や指導員の増員が
必要となり、これらに多額
の経費が見込まれますので、
今後の財政状況を勘案しな
がら、検討して参ります。
・福島第一原子力発電所の
災害に対する本町の取り組みについて

詳細検討に入ることとした
しました。広くご意見をい
ただきながら詳細な検討を
進め、「便利になつて良かつ
た」と、町民から愛される
交通システムの構築に向け
銳意努力をいたします。な
お、運行認可を得るために
は、道路運送法の規定によ
り交通関係行政機関や交通
事業者、学識者などにより
構成する「公共交通会議」
を設置したうえで、運行計
画やサービス区域、料金な
ど数項目について協議し、
合意決定することが義務付
けられております。更には、
実証運行により運行内容を
検証する必要があるなど、
協議・検討・検証に時間を
要することから、正式に運
行されるのは、しばらく先
のこととなります。

Q デマンド交通について
A 利用対象者を小学校6
年生まで拡充するには、施
設の拡充や指導員の増員が
必要となり、これらに多額
の経費が見込まれますので、
今後の財政状況を勘案しな
がら、検討して参ります。
・福島第一原子力発電所の
災害に対する本町の取り組みについて

とについては、午後6時30
分までに児童を迎えて来て
いただいでありますので、
ご協力をお願いしたいと思
います。一方、夏休みなど
の長期休暇や土曜日につい
ては、開設時間を30分早め
ることを検討しております。
※その他質問

東日本大震災に学んだ災害
に強い町づくりについて
・防災無線の受信機を全戸
に無料配布について
・防災訓練の充実と参加者の
拡大について
・避難所のトイレの洋式化
等、設備の改修について
・迅速な避難勧告の実施につ
いて
・避難所と避難経路の見直
しについて
・備蓄倉庫の防災用品の充
実について